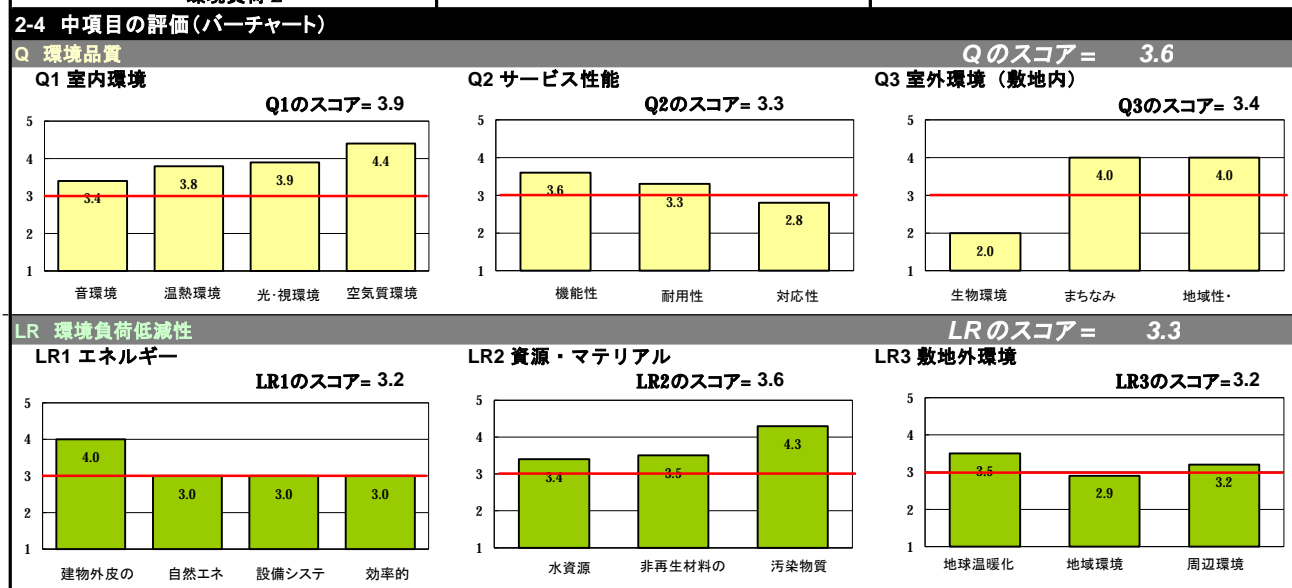
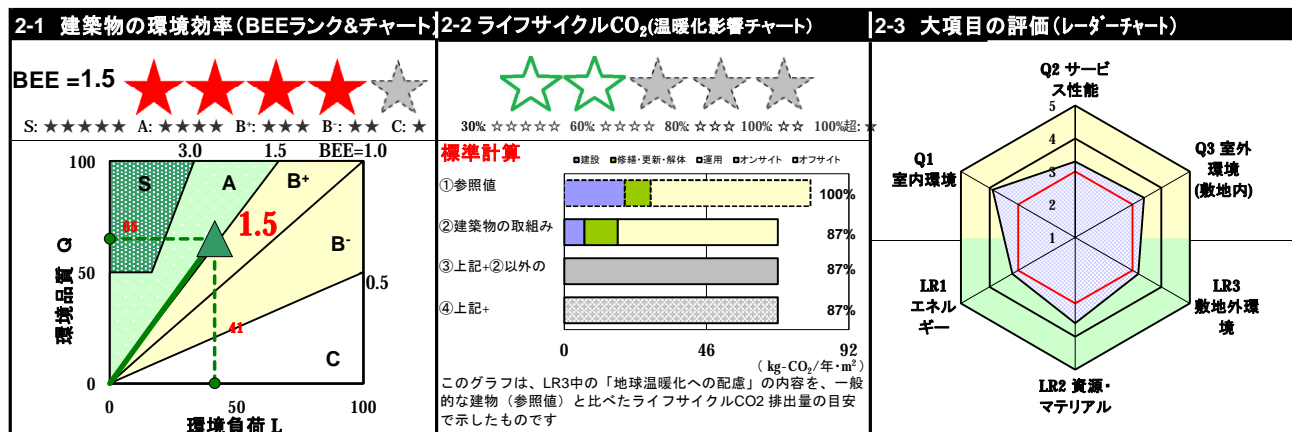


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	八尾市宮西部住宅(14号棟~18号棟)建替事業(AB棟)	階数	地上11F
建設地	大阪府八尾市幸町	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	245 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年5月14日
敷地面積	3,935 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ジャス
建築面積	1,217 m <sup>2</sup>	確認日	2024年5月27日
延床面積	5,932 m <sup>2</sup>	確認者	(株)ジャス



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
・ まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、団地として統一感のある沿道景観を形成します。 ・ 設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
・ 照明は、エンタス及び廊下にディライトタイマー、メーカナーに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。 ・ 内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。	・ 設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・ 性能評価: 断熱等性能 等級4を確保します。 ・ 住戸は専有部が外皮に2面以上面する配置とし、採光・通風に配慮します。	・ 節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。
Q3 室外環境(敷地内)	LR3 敷地外環境
・ ボリューム感の軽減など地域の景観や居住性に配慮した計画とします。 ・ 敷地西側に広場を設け、ベンチ、高木による日影空間を工夫し地域住民に憩いの場所を提供します。	・ 地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		八尾市宮西郡住宅(14号棟～18号棟)建替事業(AB棟)					
建設地		大阪府 八尾市 幸町					
用途／区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能						4
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					4
④	エネルギー消費性能						3
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					1
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		